

市会9月補正予算案発表

高齡者の安否見守るシステム 産学官連携で実証実験

郡山市は日大工学部などと連携し来年1月にも、複数のセンサーを活用して高齢者の健康や安否を見守る

提出議案を発表する品川市長



システムの実証実験に取り組み。品川萬里市長が10日発表した9月補正予算案に事業費を盛り込んだ。

団塊の世代が75歳以上となることで懸念されている2025年問題を受けて取り組む。日大工学部を主体として、市などが協力する形の産学官連携によりシステムの開発を進める。実験では高齢者の体や高齢者宅

の水道メーター、ベッドにセンサーを設置。各センサーを組み合わせ、水道の使用状況や心拍数などの生活や健康のデータを収集、分析し、病気の早期発見や孤独死対策などに役立てる。10月から利用者の選定などの準備に入り、来年1月から実験を開始する考え。9月補正には負担金として538万円を盛り込んだ。

9月補正予算案の主な事業 (単位:万円)

- ◆防災・安全安心
 - ▽除染で発生した土壌の搬出推進 5,319
 - ▽道路除染事業 1,447,947
- ◆教育・スポーツ振興・子育て支援
 - ▽富久山公民館八山田分館増築 986
 - ▽猪苗代湖で目指す日本遺産 25
 - ▽東京五輪事前キャンプ誘致活動推進 1,403
 - ▽カルチャーパーク内子どもの遊び場建設 62,530
- ◆産業振興
 - ▽コイの6次産業化と消費拡大推進 1,033
- ◆生活環境改善
 - ▽ごみ屋敷問題への対応 24
- ◆福祉関連
 - ▽高齢者見守りシステム実証実験 538
- ◆市民生活
 - ▽磐越西線新駅設置事業 13,885
 - ▽郡山駅東口整備事業 13,962

特産コイで食品開発

このほか、9月補正予算案には、同市特産品の「コイ」を使った6次産業化プロジェクトに1千万円を計上。販売促進や風評払拭を目指し、生産者と連携して市場調査やコイの栄養成分に着目した機能性食品の開発などを進める。コイを郷土食とするハンガリーと食を通じた交流にも乗り出す。

また、市内4カ所に整備する新たな遊び場のうち、カルチャーパークに整備する遊び場の整備に6億2500万円を充てた。屋根付き多目的グラウンドやキッズスペースなどを設ける。2017(平成29)年3月までの完成を目指す。

一般質問 16議員登壇
9月議会 17日開会

郡山市議会は10日、議会運営委員会を開き、9月議会の日程を決めた。会期は17日から10月19日までの33日間。一般質問は25、29、30、10月1日の4日間、

三面鏡

郡山市議会副議長に就いた
すずき 鈴木 祐治さん

「議長と共に円滑な議会運営を進め、市の発展につながるよう努力していく。市当局とも丁寧